2026年11月12日

各　位

会 社 名　株式会社ソフト９９コーポレーション
代表者名　代表取締役社長　　小西　紀行
（コード：４４６４　　東証スタンダード）
問合せ先　取締役管理本部長　上尾　茂
（TEL．０６－６９４２－８７６１）

2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想値と実績値の差異などに関するお知らせ

2026年５月14日に公表した2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じましたので、お知らせいたします。

記

１．2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想値と実績値との差異（2026年４月１日～2026年９月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	一株あたり中間純利益
前回発表予想（A）	百万円 15,500	百万円 1,870	百万円 2,000	百万円 1,390	円 銭 64.37
実績値（B）	16,472	2,511	2,683	1,813	円 銭 83.98
増減額（B－A）	+972	+641	+683	+423	－
増減率（%）	+6.3	+34.3	+34.2	+30.5	－
（ご参考）前期実績 （2026年３月期第２四半期）	百万円 15,252	百万円 1,924	百万円 2,070	百万円 1,268	円 銭 59.04

２．差異の理由

足元の経営環境は堅調な状況にあり、売上高においてはポーラスマテリアルセグメントの産業資材向け販売が半導体の好調な需要と生産設備の新設など設備投資が増加したことなどを背景に出荷が好調に推移していること、またファインケミカルセグメントの業務用製品が中古車向けを中心に販売が伸長したことや一般消費者向け製品販売においても長雨によってワイパーなどのガラスケア製品の需要が高まったことで販売が伸長したこと、ボディケアの新製品の販売が好調に推移したことで当初の予想を上回りました。

利益面においても、ポーラスマテリアルセグメントの販売が好調に推移したことで工場の稼働率が向上したことで原価率が改善したことや利益率の高いファインケミカル業務用製品販売が伸長したことなどを要因に当初の予想を上回りました。

なお、通期の連結業績予想につきましては、2026年９月11日公表の「株式併合並びに単元株式数の定めの廃止及び定款の一部変更、並びに臨時株主総会招集のための基準日設定に関するお知らせ」に記載のとおり、当社は一連の手続きを経て、2026年12月17日をもって上場廃止となる予定であることから、予想を取り下げております。

以上